

MK STYLE

栗原医療器械店 人材像コミュニケーションマガジン

新しい仲間、株式会社オーソエッジジャパン誕生

～新会社設立で、何がどう変わる？ 期待と希望～



座談会のテーマ

新会社設立 × 私たちのMK STYLE

当社のオーソペディックサージェリー営業本部(以下、OS営業本部)が担っていた
 整形外科領域の医療機器販売事業を承継するかたちで、株式会社オーソエッジジャパン(以下、OEJ)が今年7月1日に誕生しました。
 そこでOEJを代表して、4人のスタッフをご紹介します! 意気込みや会社への期待とともに、当社の人材像・行動指針「MK STYLE」の浸透について語っていただきました。

——栗原医療器械店に入社された経緯について教えてください。

金田 中学時代に病気をした際、医療現場における機械や材料の重要性を知ったこと、医療機器のトップディーラーである栗原医療器械店なら、求められる最適最善のものを提案・提供できると確信し、志望しました。

安田 私は高度な専門知識をつかって、人の健康や命に関わる仕事がしたいと思っていました。やりたいことや、将来なりたい人物像などを真剣に聞いてくださる面接の時の会話が印象に残り、また人見知りを克服したいという思いもあり入社しました。入社を決め手になりました。

青島 BtoBの仕事にチャレンジしたいと思い、転職しました。栗原医療器械店は成長性が感じられたのと、女性が活躍する様子が積極的に発信されているのを見て、やりがいを持って長く働けそうなところに魅力を感じ転職先を選びました。

香山 前職は医療機器メーカーの営業でした。メーカーとディーラーの両方を知りたかったこと、ディーラーの方が医療業界全体に貢献できると聞いたことが転職のきっかけです。冒険できる年齢だったのも、決断するひとつの要素になりました。

営業統括本部
 営業統括本部長

香山 龍美さん



首都圏営業本部
 千葉第2リージョン課
 リージョナルマネージャー

金田 勝暉さん



販売支援本部
 セールスポモーションナルセクション課
 セクションマネージャー

青島 佳代子さん



首都圏営業本部
 東京第1リージョン課

安田 悠さん



“環境”が自分を育ててくれた。 支えてくれる周りのスタッフに感謝。

——現在の仕事内容について教えてください。

安田 主な仕事は、整形外科に必要な機器をそろえて、手術がスムーズに進むよう準備をすることです。最初は、クライアントとの交流が思った以上に多いんだという印象を持ち、難しいことは日々奮闘しています。

金田 私も安田さんと同じで、クライアントとの接点が思った以上に多い印象を持ち、日々刺激を受けています！そしてクライアントの収益を考えながら、当社の価値を提供できるよう意識しています。また、担当者がある施設のコントロールもしています。

香山 私は決まった担当はなく、1都7県に渡る商圈のすべてを統括し、マネジメントや労務管理を主に行っています。テクニカルな要素が強い時や難しい商談のときは、担当者に同行して、部下の育成も常に心がけています。

青島 私は企画推進課として、営業とメーカーの橋渡しをする役割の業務をしています。メーカーとディーラーで共通の目標を掲げた取り組みやキャンペーンを企画しています。部署自体としても新しい部署なのでいろいろと模索中です。

——仕事を通じて感じた印象的なことは何ですか？

金田 入社1年目は担当を持たせてもらえず、2年目の後半に初めて担当を持つことができました。周りを見る立場になって、改めて事務の方や配送の方など多くのスタッフに支えられていると感じ、感謝の思いが強まりました。

安田 入社当初、先輩に同行したときは、専門用語のオンパレードで会話が理解できなかったことをよく覚えています。知らな

いことを地道に覚えていく努力をしています。もちろん今もわからないことはありますが、営業所のスタッフの皆さんが武器になるものをたくさんそろえてくれるので、本当にいつも心強いです。

青島 仕事を通じて感じたことは、当社はとても風通しが良くて、わからないことを周りの関わる方々が親切に教えてくれるので、仕事がしやすいなということです。思った以上に上司と部下がフレンドリーな職場なので、社員の仲が良い会社だなと感じています。

香山 一営業スタッフから始まり、3年目でグループリーダー、その後部長を経験し9年目で本部長になりました。ステップアップできたことは、本当に周りに感謝しております。自分がマネジメントに向いていたのではなく、立場を与えてもらって、その期待に応えるべく日々学び、培ってきたからこそ、今の自分があると思っています。



CHAPTER
2

胸が高鳴る 新たなスタート!

——新会社設立後、どんな変化があるでしょうか?

香山 分社化の目的は、整形部分の専門性を強化し、全国のニーズに応える体制の確立です。次世代の経営者の育成の一助になるでしょうし、採用もしやすくなることも期待しています。仕入れに強くなり、クライアントには価格面で喜んでいただける機会が増えると思います。創立メンバーということで社員のモチベーションが上がっているので、目標達成のスピードが速まりそうです!

金田 新会社ということで整形分野に特化できるというメリットがあるので、専門性高く働きたい人たちが集まりやすくなります。目標設定や評価についても、より精度の高いものになりそうなので、モチベーションにつながりそうですね!

青島 社名やロゴ作成は、OS営業本部の課長以上のメンバーで決めたこともあり、最初から身近な印象で親しみもあり、より一層愛社精神につながって来るのでは?と思っています。また自由度がある分、各個人の責任が幅広く、また大きくなってくると思う気持ちが引き締まりますよね!

安田 青島さんのおっしゃる通り、確かに責任の部分で、より一層気持ちが引き締まっている雰囲気を感じています。現場と経営層の意見が交わしやすくなる気がしますし、会社の規模が変わるといっても含めて、今まで以上に個人の意見が届けやすくなるのでは?と期待しています!



香山 龍美さん

香山さんの週末。

趣味は旅行で、イメージはあまりないかもしれませんが週末は家族と過ごすことが多いです。全国各所を巡ったり、自宅にテラスをつかったので、BBQをしたり、子どもたちのためにプール遊びをしたりしています。



金田 勝暉さん

金田さんの週末。

いつも家族との時間を1番に考えてます!なので週末は、家族との旅行やお出かけに時間をかけることが多いです!あとは、時間を見つけては、趣味のバイクに乗ることもリフレッシュの1つです!



青島 佳代子さん

青島さんの週末。

珍しいといわれることが多いですが、趣味は建築物を見ることです。特に、特徴のある建物を見に行くことが好きです。あと最近は運動不足解消も兼ねて登山を始めてみました!



安田 悠さん

安田さんの週末。

私は友人と週末を過ごすことが多いです。好きなコンサートに行ったり、映画を観に行ったりしています。そのときは、学生に戻った気分で、思いっきり友人と楽しんで、リフレッシュしています!



CHAPTER
3

気付けば、あれもこれも。自然と浸透していたMK STYLE!!

——振り返ると「これはMK STYLEだった」と思う出来事やシーンを教えてください。

金田 営業担当先のドクターが退職し、他の病院に移ることになったときの話です。 移り先の病院を担当している先輩社員に相談してみて、アプローチを続け、そして無事に案件を獲得することができました。これは、社員同士がフラットに話せる風潮の強まりから、まさにMK STYLEの「つながり」だなと思います。

青島 初めてMK STYLEに触れたとき、人としての成長も一緒に考えるなんて素敵だなと思っていました。「楽しむ」というメッセージが土台として掲げられていることで、仕事は楽しいことばかりではないけど、「楽しむ気持ち」を忘れないように仕事をしよう!と思うようになりました。これは働く人すべての人にあてはめられるなと思います。

安田 私は、「挑戦」して結果につながる。このことが今は1番うれしいですね。もちろん失敗することもあります。が、「挑戦」はさらなる「成長」にもつながるし、さらにそれが結果に結びつくまでのおもしろみを増幅させるのではないかと思いますね。

香山 私がMK STYLEの行動指針で一番好きなのは、「寄りそい」です。MK STYLEが策定されるまでは、あまり「寄りそう」というところに気持ちが向いていなかったのですが、周りに関わる時や部下と話をするときなど、意識するきっかけになりました。また「導く」方法論を常に考えているのは、MK STYLEのおかげです。今は、仕事での達成感を得やすいというカルチャーを作る側となっていると思っているのでそのベースとなっているのも、まさにMK STYLEですね。



チャレンジをし続け、ずっと誇れる会社に。

—— 将来の夢や目標を教えてください

金田 夢という大きな話ではないのですが、今のペースを落とさないで、行けるとこまで行きたいと思っています!!私はステージが上がるごとに新しい経験ができることが、とにかく楽しく、それが財産になっていると思っています。そしてさらに自分を成長させると確信しています。もちろんそのための努力をたくさん続けたいと思っています!

安田 私が働く理由、仕事を頑張る動機づけにもなっているのは、成長したいから。学生時代と今を比べたら、今の方が成長しているという自信がありますし、これからも、いろいろなことに挑戦して経験を積み、キャリアを築き、どんなつらいことがあったとしても乗り越え、成長し続けたいと思っています!

青島 新会社の設立に携わることで、今までにない経験が増えているなど日々刺激を感じながら業務をしています。おそらく会社もこの先、どんどん変化・進化していくと思うので、自分自身も柔軟に対応し、自分の成長も会社の成長に負けないくらい、突き進んでいきたいですね。

香山 やっぱり部下のみんなに楽しんでほしいですね。目標としては、彼らが自宅に帰ったとき、ご家族に楽しく会社の話ができること。ご両親に素晴らしい組織だと胸を張って言える組織を作りたいと、本気で思っています。諦めることなくずっと追求していきたいですね。

